



〔左から〕石川さん、菅原さん

白球を追い、全国へ

8月8日(土)から10日(月)にかけて、大阪府堺市で開催されるソフトボール競技の「第26回全日本中学生女子大会」に栗駒中学校3年の石川さくらさん(若柳元町1)と、菅原心愛さん(栗駒中野上)が出場します。

気仙沼ホワイトタイガースに所属する2人は、6月27日(土)に開催された宮城県予選会で優勝し、全国大会出場を決めました。

2人は全国大会に向け「一つ一つ、確実に勝ち進み、上位入賞を目指したい」と意気込んでいます。



〔左から〕赤澤経済産業大臣、六日町合同会社代表

わがまち商店街表彰

7月10日(金)、経済産業省で「地域にかがやくわがまち商店街表彰2026」の表彰式が行われ、東北地方から唯一、栗駒地区の六日町合同会社と六日町通り商店会が受賞しました。

この表彰は、地域の魅力を引き出し、商店街を元気にする取り組みを全国に紹介するもので、各地の商店街がいっそう活気づくことを目指しています。今回の受賞では、六日町通り商店街でのまちづくりを、岩ヶ崎地区全体の旧商店街へ広げる取り組みが高く評価されました。



世界記録に認定

6月28日(日)、高清水地区の国道4号沿いにある自販機ミュージアムで「ギネス世界記録への挑戦イベント」が開催されました。

このミュージアムは、自動販売機の設置管理を行う株式会社サン・ベンディング東北が、日本独自の自動販売機文化を世界へ発信しようと、昨年3月にオープンしたものです。

当日は「異なるラッピング加工をされた自動販売機の最多展示数」の世界記録に挑戦し、来場者が見守る中、審査され、107台で認定されました。



声で紡ぐ、あの日の物語

6月20日(土)、栗原ドリームアンバサダーで俳優の岩田華怜さんが脚本と演出を手がけ、自身も出演する朗読劇「10年後の君へ 栗原公演2026」を栗原文化会館で上演しました。

この作品は、東日本大震災をテーマに、岩田さんの経験や苦悩を登場人物に投影した朗読劇です。

当日は、出演した6人の熱演に、涙する人の姿も見られました。また、震災を知らない世代に向けられたメッセージから、記憶を風化させてはならないことを共有する機会となりました。



磨いた技で頂点へ

8月1日(土)と2日(日)に、利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで開催される「第68回小学生・中学生全国空手道選手権大会」と、8月13日(木)から15日(土)にかけて東京都調布市の京王アリーナTOKYOで開催される「第26回全日本少年少女空手道選手権大会」に、市内のJK A 築館空手道スポーツ少年団の皆さんが出場します。

大会に向け、選手たちは実力を十分に発揮できるよう、より一層稽古に励んでいます。



堂々、全国の土俵へ

8月9日(日)、東京都墨田区の両国国技館で開催される「第37回全国都道府県中学生相撲選手権大会」の個人軽量級に、栗駒中学校3年の曾根紇斗さん(築館駅前)が出場します。

曾根さんは、6月13日(土)に行われた同大会の宮城県予選会に出場。個人軽量級で見事優勝を果たし、全国大会出場を決めました。

曾根さんは「昨年の経験を糧に、自分の実力を出し切りたい。今年はベスト8入賞を目指して頑張ります」と、大会に向けた決意を語りました。



警察協力章を受章

7月1日(水)、医師の白野宏さん(築館西町)に、警察庁長官から警察協力章が贈られました。この章は、長年警察の業務に協力した人などに贈られるもので、日野さんは、35年間にわたり、警察医として専門的な立場から、協力を続けてきました。

受章にあたり、日野さんは「曾祖父の代から警察医の役割を担ってきました。今後も地域のために、警察医としての役割を果たしていきたい」と語りました。



言葉に思いをこめて

6月30日(火)、志波姫この花さくや姫プラザで、市内の中学生が日頃の思いを発表する「第47回少年の主張栗原大会」が開催されました。

当日は、中学校などから選ばれた7人の代表生徒が、学校や部活動の体験で感じたことを生き生きと発表し、会場から大きな拍手が送られました。

審査の結果「一緒にやらない?」と題し、体験した2つの出来事を対比しながら、説得力のある思いを語った、栗原南中学校3年の荻原希空さん(高清水9区)が最優秀賞に選ばれました。